

第4学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 友だちだから 2 - (3) 信頼・友情
資料名 絵はがきと切手 (文溪堂)

2 主題設定の理由

本学級の子どもたちは、友だちと仲良くしお互いに思いやりを持って接することが大切であることを知っている。学級の中で困ったり、悲しい思いをしたりしている友だちがいると声をかけたり、一緒に活動をしたりすることができる子どももいる。また、生活班や当番、係の活動などでは男女仲良く話し合ったり、協力し合ったりすることができ、休み時間にはみんなで遊ぶ姿もみられる。しかし、友だちのことを思っていて友だちの間違いやおかしさを相手にはっきり伝えることができないという子どもは多く、相手に言わず担任に判断を求めてくることもある。

このような子どもたちに、友達を信頼し、言いにくいことでもきちんと伝えることが友達のためになり、本当の友情に近づくということに気付かせようとする本題材は大変意義深い。

本主題は、「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことができるような心情を育てる。」ことを主なねらいとしている。本当の友情とは、お互いのよいところや不十分なところを認め合いながら信頼しあうことで生まれてくるものである。人間関係をつくり、お互いの人間性を高めるためには、時には厳しさが伴うことを理解させることが大切である。

本資料「絵はがきと切手」は、定形外の郵便物を送ってきた友達に対して、その事実を教えるか教えないか主人公のひろ子が迷うが、最後には120円の切手を貼らなければいけないことを知らせる決心をするという話である。

本指導にあたっては、ひろ子の心情に視点をあて、道徳ノートや板書資料による心情図を用いて友達のことを考える心の迷いをとらえさせていきたい。そのために導入では、友達についてのアンケートの結果をもとにめあてを把握させる。展開前段では、資料を通して主人公の気持ちを考え、相手に教えるか、教えないか迷っている気持ちを心情図を用いて表す活動を位置づける。その際、「教えない方が友達から悪く思われなくてよさそうなのに、なぜ、教えようと思ったの。」という揺さぶりの発問をすることで、友達のことをよく考えて教えることを決心したひろ子の心情に気づかせる。展開後段では、価値を実現しようとする自分を見つめるために、自分の生活をふりかえる活動を取り入れる。終末では、友達のことを考えて行動しようとする心情を深めるために、信頼や友情を深めた教師の説話を聞く。

3 本時のねらい

友だちとお互いに理解し合い、友だちのことを考えて行動しようとする心情を育てる。

- 4 本時 平成 年 月 日 曜日 校時 第4学年

5 準備

子ども 筆記用具

教師 読み物資料、板書用挿絵、ネームカード、道徳ノート、付せん、音声テープ

6 展開

段階	主な学習活動と内容	教師の支援
導入	1 友だちアンケートの結果から、本時学習のめあてをつかむ。 ・友だちだから、言えない。 ・友だちだから言う。	アンケートの結果を提示し、意識付けし、めあてにつないでいく。
展開 前 段	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">めあて より高め合う友だちになるために、どんな心が大切か考えよう。</div>	
	2 資料を読んで、ひろ子の気持ちについて話し合う。 (1) 絵はがきが届いた時のひろ子の気持ちについて考える。	ひろ子が置かれている状況を、短冊を用いて的確に把握させる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">正子さんから届いたはがきをみた時、ひろ子さんどんな事を思ったでしょう。</div>	
	・うれしい。 ・まだ、私のことを覚えていてくれた。 (2) 迷っているときのひろ子の気持ちを考える。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お母さんとお兄さんの話を聞いたひろ子はどう思ったでしょう。</div>	
展開 後 段	・70円足りなかったと書いたら、正子はいやな気持ちになるのではないか。 ・どうしたらいいかわからない。 ・伝えてあげないと、また同じ間違いをしよう。 (3) 教えてあげようと思ったときのひろ子の心について考える。	悩んでいるひろ子の挿絵と母と兄の台詞を吹き出しで掲示し、ひろ子が悩んでいる様子をとらえやすくする。 迷っているときの心の様子を心情図に付せんで示してから吹き出しに理由を書かせる。 黒板にネームカードをはらせどちらの気持ちが強いのか表現させる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">正子に教えてあげようと思ったのは、ひろ子の心にどんな心が働いたからなのだろう。</div>	
	・友達だから、わかってくれるだろう。 ・友達だから同じ間違いをさせたくない。 ・教えてあげられる友達でいたい。 ・私は正子の友達だ。	教えないと考えていた子ども達に発言させ、価値を学ばせる。
終末	3 自分の生活をふり返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これまでに友達から教えてもらってよかったなということを思い出しましょう。</div> ・廊下を走っていたら、だめだよと言われた。僕の事を思ってくれていたんだ。 ・係の仕事をやっていなかったら、ちゃんしないとだめだよと言われた。友達だから、言ってくれたんだ。 4 教師の説話を聞く	事例を提示し、想起しやすくする。

発問計画

T： この前、友だちについてのアンケートをとりましたね。それがこのアンケート結果です。
みなさん親友といえる友だちがいるようですね。

親友には何でも話せますか。というアンケート結果では、ほとんどの人が何でも話せると言
という結果がでました。でも、この絵（写真）親友がもし言葉遣いが悪く周りの友達を傷つけ
ているとしたら、あなたは友達に言葉遣いをなおした方がいいよと言ってあげることができま
すか。質問では、言うことでできるという人が半分、言うことができない人が半分でした。

なぜ、言えるかという質問では 友だちだからと言う答えが返ってきました。

なぜ言えないのかという質問では これも友だちだからという答えが返ってきました。
どちらも友だちのことを大切に思っているんですね。

T： じゃあ、こっちの友達とこっちの友達，相手のためになっている友達ってどっちなんだろう
ね。

C： 言うことのできる友だち。

T： 今日は、より高めあえる友達になるためにはどんな心が大切か考えていきたいと思います。

5分

めあて より高め合う友だちになるために大切な心について考えよう。

板書

（ここまでで5分）

T： 今日のお話は、「絵はがきと切手」というお話です。

今日のお話には、ひろ子という女の子と、ひろ子の大親友のまさ子という女の子が出てきま
す。 ひろ子のさし絵をはり ひろ子と正子の名前を板書する。

ひろ子さんと正子さんは1年生の頃からの仲良しなんだけど、正子さんは長野県に転校して
しまいました。その正子さんから、大きな絵はがきが届いたんです。それは、転校していった
長野県にある蓼科高原に行ったときのはがきでした。これが、そのはがきです。

実はね、このはがき少し大きいでしょう・・・。（定形外郵便）と言って、50円の切手では
届かないんです。だから、ひろ子のうちに届いたときに料金不足の分の70円を払いました。
ひろ子さんは、このことを正子さんに教えどかどうか迷うのです。さっきのみなさんと同じよ
うにね。さあ、ひろ子さんはどうするんだろうね。みなさんはひろ子になってこのお話を、
目と耳と心で聞いてね。

引き出しから資料を出させて資料を読む。読み終わったら資料は引き出しの中
にしまわせる。

T： お話をふり返ってみましょう。

ひろ子と正子は1年生の時から仲良しです。 短冊をはる 1年の頃から仲良し

正子は転校していったんだよね。 短冊をはる。 正子は転校している

正子から大きなはがきが届きました。そのはがきが、料金不足だったんだよね。

短冊をはる。 大きなはがき 料金不足

これが届いたはがきです。 はがきの文面（さし絵）をはる。 5分
(ここまでで10分)

T : こんなすてきなはがきをもらったとき、ひろ子さんは心の中でどんなことを思ったでしょう。

- C : ・うれしい。
・今でも私のことを覚えていてくれたんだ。
・正子さんは私にこの景色をみせたかったんだ。やっぱり、正子さんは私の親友だ。
・泊まりに行きたいな。
・すぐにお礼の手紙を書こう。

3分
(ここまでで13分)

T : ひろ子はこんな気持ちだったんだね。では、次の場面に行くよ。ひろ子は、すぐ返事を書こうと思ったんだけど、料金不足だったことが気になってお母さんとお兄さんから話を聞いたね。
さし絵をはる

お母さんは、お礼だけ言っておいた方がいいと話してくれましたね。 吹き出しをはる。
お兄さんは、料金不足のことを教えてあげないといけない。と言ってゆずりませんでしたね
吹き出しをはる。 2分

T : お母さんとお兄さんの話を聞いたひろ子は、どんなことを思っているでしょう。

T : プリントを引き出しから出してください。さあ、今からひろ子になって考えてもらいます。あなたがひろ子だったら、どのあたりに気持ちがあるかな。付せんを心の線の上に置いてね。赤が教えない。青が教える。の気持ちですよ。今からお母さんとお兄さんの台詞を聞かせるよ。付せんに置いたら吹き出しにどうしてそこに置いたか理由を書いてね。
てね。

書けた人から、ネームカードを貼ってください。

5分
(ここまでで20分)

T : じゃあ、みんなの気持ちを聞いていくね。ひろ子が心の中でどんなことを考えていたのか教えてください。

- C : ・お金が足らなかったと書いたら、正子はいやな気持ちになるだろうな。
・せっかくはがきを送ってくれたのに、お金が足らなかったと書いたら、悪い。

T : どうして、そんなふうに考えたの？

- C : ・友だちだから、70円ぐらいは自分のお小遣いからはらって、正子のはがきを出してくれた気持ちを大切にしたいと思ったから。

迷っている子どもに発言させる。

T : さんはどんなことを考えたか教えてください。

C : ・ どうしたらいいかまような。
 ・ 困ったな。

T : ・ どうして迷っているか教えて。

C : ・ 友達として教えてあげた方がいいと思うけど、そんなこと書いたら、きらわれそうだから
 ・ 教えてあげた方がいいのかもしれないけど、わざわざ自分が言わなくていいんじゃないかな。たいしたことじゃないので。

 教えるのみに発言させる。

T : さんの考えをきかせてください。

C : ・ 私が教えてあげないと、また正子さんは同じ間違いをするかも。
 ・ 友だちだからこそ言ってあげないと・・・。

T : でも、教えることで、正子さんが嫌な気持ちになったらどうするの？なかなか会えないんだよ。

C : ・ 正子は親友だからわかってくれると思う。

T : わざわざひろ子が教えてあげなくても、いつか気がつくんじゃない。

C : ・ 友だちだからこそ、言いにくいことでも教えてあげないと、正子さんはいつまでも知らないままで恥をかく。

T : みなさんからたくさん発表してもらって、教えないこと・教えることどちらとも正子のことを考えていることが分かりましたね。

T : お友達の考えを聞いて、考えが変わった人は、付せんを動かしてみて。
 動いた人はいるかな。
 なぜ、気持が動いたか教えて。 2 ~ 3人

10分

(ここまでで30分)

T : ひろ子は、迷ったけれど、こっち(教える)に決めたんだよね。なぜ、ひろ子は、教えると決めたのかな。ひろ子の心にどんな心が働いたからかな。

- ・ 正子さんの友達なんだ。。
- ・ 友達だから、間違いはさせたくない。
- ・ 教えてあげられる友達でいたい。
- ・ 友だちだからわかってくれるはず。

3分

T : ひろ子の心に、友達だからというよりいい心働いたんだね。

T : 正子さんは、ひろ子のいういい友達を持ってよかったね。

今日は、より高め合う友だちになるために大切な心を考えてきましたね。より高め合う友だちでいるためには、相手が嫌な気持ちになると思うことでも教えてあげなくてはいけないことがあるんだよね。そうやって、ともだち同士は高まることができるんだよね。

1分

(ここまでで34分)

T : みなさんも、これまでに正子のように友達から自分が知らなかったことや間違っていることを教えてもらってよかったなということがありますね。その時のことを思い出して書いてください。

何枚か写真を見せる。

3分

T : 自分のことを話してください。

5分

ここまでで42分

T : 最後に先生のお話です。

先生は子どもの頃、マラソンチームに入らないかと誘われて親友と入りました。先生は、バレーボールもしていたので、バレーボールの練習のあとマラソンの練習をしてたのですが、だんだん練習がきつくなって練習をさぼりはじめました。親友は、マラソンだけだったので練習にも参加していたので、いつも「具合が悪いので欠席する」と伝えておいてねとお願いしていました。

でも、ある時、その親友に「できないんだったら、やめたほうがいいんじゃない。」といわれました。たしかにそうだなと思ったのですが、もう何週間も嘘の理由で休んでいたの自分では言えないと思って友だちに「じゃ、やめると言っていおいて!!」とお願いしたの。そしたら、「自分で入って決めたのだったら、きちんと自分でやめまると言わないといけないんじゃないの。監督に失礼じゃない。」といわれました。友だちなのに、ひどいこというな・・・としばらく先生は悲しい気持になって、そのお友達とも気まずくなっていたのですが、よく考えると確かにそうだなと思って勇気をだして自分で言いにいきました。そうしたら、監督もわかってくれて、走れないならマネージャーをやってみないかと言われマネージャーとしてお世話をしました。その時、友達の言うとおり自分で言ってよかったな、友だちのお陰だなと思いました。そして、友達に「ちゃんと自分で言ったよ。ありがとう。」と伝えました。今でも、その友だちとは大親友です。あのときの友達がはっきりきってくれたおかげで、今の先生がいます。今でもそのときの事は忘れないし、今だに感謝しています。

これで、今日の学習を終わります。

(ここまでで45分)

アンケート

名 前

1 , 親友と言える友だちがいますか。 いる・いない

2 , その親友には、何でも話せますか。 話せる・話せない

3 , あなたの親友が、言葉づかいが悪く周りの友達がいやがっています。あなたは、親友に、そのことを教えてあげることができますか。

言える・言えない

なぜ、言えますか。

なぜ、言えませんか

4、これまでに親友にまちがっていることやおかしいことをはっきりと言ってあげたことがありますか。

ある・ない

5、もし、そのような経験があったら教えてください。

友だちだから

めあて

より高め合う友だちになるためにどんな

心が大切か考えよう

「 絵 はがき と 切手 」

お母さんとお兄さんの話を聞いてまよっているとき、ひろ子は心の中
でどんなことを考えてるでしょう。

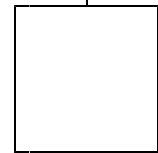
料金不足 を教えない



料金不足 を教える

これまで、友だちから教えてもらってよかったなということを思い出
しましょう。

言う



友だちだから

言わない

友だちだから

めあて

より高め合う友だちになるために、どんな心が大切か考えよう。

「絵はがきと切手」

ひろ子

一年生のころから仲良し

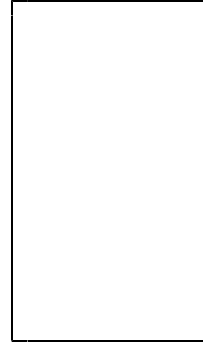
正子

料金不足

大きな絵はがき

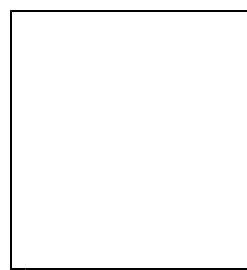
転校

絵はがきが届いたときのひろ子の気持ち



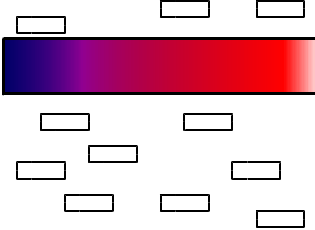
- ・うれしい。
- ・わたしのことおぼえていてくれたんだ
- ・やっぱり、わたしの親友だ。
- ・お礼の手紙をすくかこう。

まよっているときのひろ子の気持ち



料金不足を教えない

お礼だけ言って



- ・いやな気持ちになる。おいたほうがいい。
- ・せっかくなのはがきなのに。
- ・正子さんに悪い
- ・困ったな。
- ・また同じまちがいをする。
- ・友だちだからこそ。

料金不足を教える

ちゃんと言って

あげたほうがいい。

- ・私は、正子さんの友達だ。
- ・正子さんならわかってくれる。
- ・友だちだから、同じ間ちがいさせたくない。

教えてあげようと決心したひろ子

自分の生活をふりかえって

・廊下を走っている私にだめといってくれた。わたしのことを思ってくれていたんだ。

1年 道徳学習指導案			
資料名	百キロハイクを終えて	出典	未来を拓く (福岡県郷土資料集)
主題名	目標を達成する強い意志	内容 項目	1 - (2) 強い意志
<p>○ 主題設定の理由</p> <p>・ 主題観</p> <p>中学生期は頭では、目標を設定し強い意志を持って取り組むことの重要性は理解できていても現実として自分の身に障害や困難に直面すると、理想通りいかない現実に悩み苦しんだり、安易に妥協したり、あきらめたりする場合すらある。これらは自分の中の強い心(意志)と弱い心(意志)の葛藤の中で、安易な妥協や逃避を許す自分や周囲の環境があるのではないだろうか?そこでこの時期に生涯をかけて達成するといった大きな目標に限らず、日常的な努力目標を達成できたときの成就感や満足感を振り返ったり、身近な中学生の目標への粘り強い努力を知ることは、自己の向上を目指し、次の目標へ向かって希望や勇気を持って突き進むたくましい生き方につながるものと思われる。</p> <p>・ 生徒観</p> <p>本学級の生徒は、男子 名、女子 名の計 名である。とても明るく1年生らしい素直さと元気よさを持ち、自分の考えや意見を堂々と発言できる生徒が多い。入学式の5日後に出発した自然教室では、最終日に行われた志賀島1周24kmハイクを全員が完歩した経験を持つ。また、体育大会の大縄飛びでは、特別支援学級の仲間と苦労しながらも心をひとつに粘り強く努力し、目標を達成した。</p> <p>しかし、本学級のアンケート調査では、勉強や部活動での個々の目標に対して、その困難に向かって最後までやり通せなかったり、避けなくなったりした経験や悩みを抱えている生徒も多い。</p> <p>・ 資料観(指導観)</p> <p>本資料は、大野城市「まどかぴあ」を目指して24時間以内に100kmをひたすら歩くボウイスカウトのイベントに参加した中学生3人ペアのスタートからゴールまでの心の動きや活動を綴ったものである。</p> <p>本資料を通して、誰でも心の弱さと強さをもっていることに気づかせ、弱い心を克服することの難しさと大切さを理解させたい。また、主人公の弱い心は、周りの支え(友人の優しさや厳しさ)によって強い心(意志)に変えられたことにも気づかせ、自分自身を振り返らせたい。大きな目標に限らず、日常的な努力目標でも障害や困難があっても、立ち向かい、決してあきらめずにねばり強く努力する強い意志や態度を育てたい。</p>			
ねらい	目標に向かって決してあきらめずにねばり強く努力しようとする強い意志や態度を養う。		
期待する生徒の姿	<p>生徒の姿</p> <p>誰もが持っている心の弱さに気づきつつ自分の心の揺れに真剣に向き合い、他者の意見に耳を傾ける姿</p> <p>これから困難に直面したときに逃げずに努力しようと決意している姿</p> <p>見とる方法</p> <p>様相観察 生徒の発言 学習プリント 強い意志赤色ハートカード</p> <p>関連して見取る場面</p> <p>各行事(合唱コンクール、体育大会他) 定期考査 部活動</p>		
資料準備物	<p>全コース地図 ハートの色分け掲示物 個人用ハート</p> <p>足のみめのつぶれた写真 ゴールの写真 最後までがんばった経験の笑顔写真</p> <p>心のノート 学習プリント</p>		

	学習内容	教師の発問・指示	指導・支援の工夫
導入	1 心の放送を聞きながら目標に向かう過程での成功例や失敗例を思い浮かべる。	静かな気持ちで自分の経験を思い出してみよう。	・人間はだれでも心の強さと弱さをもっていることに気づかせる。
展開	2 資料前半を読み、主人公の心の様子を考える。 ・学習プリントに記入後、一斉に個人用ハートを頭上に提示する。 足が痛い。 「大丈夫か」とはげまされる。 道に迷う。 道がわかる。 自分の最長記録をつかった。 ・自分の心に近い色別ハートの場所にネームカードを貼り、意見交換を行なう。 3 資料後半を読み、主人公の気持ちを考え、自分の日頃を振り返る。 ・事前アンケートの中から、最後まで頑張った経験を発表する。	それぞれの場面の主人公の心の変化を色別円カードで表してください。 あなたが の場面ならどうしますか？ 強い心と弱い心の間で揺れ動く 弱い心はどうすれば克服できると思いますか？ 完歩できない友人とパートナーになったとしたらどんな声をかけますか？ ・ゴールの喜びを思い描く ・過去の悔しさを思い出す ・自分も辛い あなたは最後までやり通した経験はありませんか？	・色別円カードを示し、赤い色を強い心（意志）、黒い色を弱い心として心の変化を表す。 ・主人公の心の変化に気づかせる。 ・「自分の心」「パートナーの心」に着目させ心の揺れを全体に広める。パートナーからの声かけに自分の心がどう揺れるのかを深く感じ取らせ、どうすれば弱い心を克服できるのかを考えさせる。 ・発表を聞きながら自分の経験を思い出し、今後の実践意欲につなげる。
終末	4 本時のまとめをする。 ・心のノートに記入する。 ・強い意志を表す赤色ハートカードに記入する。	心のノートに記入しましょう。(p20~21) 教師のつぶやき あなたの強い意志へエールを送りましょう。	・本時を振り返り、今の自分と向き合うために発表はさせず、静かに記入させる。 ・これから様々な困難に出くわしたとき、そこから逃げ出さず、一つ一つ乗り越えていくことは、次の目標へ向かう力になることを感じ取らせたい。

板書計画



『強い意志』	氏名	組	番
--------	----	---	---

今まであきらめずに最後までがんばった体験について書いてください。

Blank writing area with horizontal dashed lines for the first section.

今振り返るとあのときあきらめずに最後までがんばればよかったという体験について書いてください。

Blank writing area with horizontal dashed lines for the second section.

